

## 園内作業道設置による土壌流亡防止策

砂質土壌園に作業道を設置すると雨により土壌が流亡しやすく、作業道設置後の問題となっている。このため、低コストで簡易な土壌流亡防止方法を検討した。

場内花崗岩砂質土壌のは場に等高線状に設置した幅0.8~1.0mの園内作業道を小型油圧式ショベルを使用して幅1.2~1.3mに拡幅した。

盛土面の土壌流亡対策は、古タイヤを敷き

詰めコンクリート舗装する方法が、簡易で安価に設置できる。この時作業道路面も同時に生コン舗装（厚さ8cm）していく。また、切土面は、テストピースを積み上げる方法が安価に設置でき、土壌の流亡が防止できる（表1、写真1）。この場合、長い作業道は数カ所に排水溝を設けるか、作業道に傾斜をつけ排水溝として利用する。

（柑橘栽培班 主任研究員 藤原文孝）

表1 土壌流失防止方法と費用、作業時間及び効果

実施箇所	方 法	作業道 1 m <sup>2</sup> 当たり		破損程度 (流土量m <sup>3</sup> /10m)
		費 用 (円)	作業時間(hr)	
盛 土 面	土のう	1,510	0.43	軽
盛 土 面	古タイヤ	1,320	0.36	無
切 土 面	コンクリート壁	3,710	1.32	無
切 土 面	テストピース積上	2,290	1.60	無
切 土 面	無処理	—	—	(0.14)

注) コンクリート壁、テストピース積上ともに高さ70cm、設置1年後の流土量、破損程度  
盛土面は幅1.2m作業道設置及びコンクリート舗装費用含む  
古タイヤ、テストピースは無償



写真1 作業道設置と土壌流亡対策